

2025年12月5日

当院で肺血流シンチグラフィー検査を受けられた患者さん・ご家族様へ 研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるもので、ご自身の直接の利益はありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】

2019年7月～2020年12月の間に、肺血流シンチグラフィーを施行した患者様

【研究課題名】

仮想プラナーを用いた肺血流シンチグラフィーの診断精度の検証

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 放射線部 医師 立石 恵実

【研究の目的】

肺血流シンチグラフィー検査に要する時間を短縮する方法として、検査で得られた画像データから仮想的な診断画像（仮想プラナー画像）を構築する手法を考案しました。

肺血流シンチグラフィーは通常、プラナー画像とSPECT画像の2種類の撮像を行うため検査時間は約30分かかります。考案した仮想プラナーを用いると、プラナー画像の撮像は不要となり、検査にかかる時間は約15分程度に短縮することが可能です。

我々は日常診療で得られた検査画像を用いて、仮想プラナー画像の有用性の検証を行います。

【利用する診療情報】

年齢、性別、体重、身長、疾患名、肺血流シンチグラフィー検査画像

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【研究期間】

研究許可日より2026年12月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

本研究は将来、研究計画を変更する可能性があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て研究統括管理責任者の許可を受けて実施します。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 放射線部 医師 立石 恵実

電話 06-6170-1070(代表)